

平成24年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

2月19日（火）、平成24年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、樋口義広公使と認定NPO法人IVYの松浦あゆみプロジェクトマネージャーが、「スバイリエン州農産物組合（SAC）の持続的な経営体制の確立を通じた、農村における貧困削減事業」（供与限度額：239,696米ドル）案件の贈与契約書に署名を行ないました。



本案件は、カンボジア国のスバイリエン州において無農薬・有機野菜の生産力の強化や安定供給のためのネットワークの構築に加え、SACが主体的に活動を行えるよう自立化を支援するものです。具体的には、会計・財務管理や事業計画作成の指導を行う他、課題・計画の共有をはかることでSACの運営委員が、より主体的に事業を運営していくことが見込まれます。また、組合は設立当初より、スバイリエン州農業局の協力のもとに事業が行われており、引き続き行政と住民が一体となった取り組みが推進されることが期待されています。本事業実施により、

スバイリエン州の60村からなるSACの組合員約300人が裨益します。また、この事業を通じてSACが自らの手で無農薬・有機野菜を安定的に生産・流通し、カンボジアにおける農業共同組合のモデルケースとなることが期待されています。

式典では、樋口公使がスピーチを行ない、今回の支援がカンボジアの草の根レベル人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて、松浦プロジェクトマネージャーが、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、今後もカンボジアの人々と協力して、組合の自立化と持続的発展に努めることが約束されました。スピーチの後、樋口公使と関係者全員による記念撮影が行なわれ、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。

